

ご自由にお持ち帰りください

さくらだより



さくら病院

SAKURA

日本医療機能評価機構認定



日本医療機能評価機構

認定 医療機関 総合病院 介護療養型医療施設 専門病院



健・康・通・信

さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 35



春爛漫の季節となりました。気候温暖化のため毎年さくらの開花が早くなり、この頃では入学式には既に花の盛りが過ぎていたり、散ってしまったりやらで戸惑いを感じます。皆でかけがえない地球を大事にしたいものです。さて、昨年8月30日の総選挙で自民党から民主党へ政権交代となりました。健康や長生きも自己責任という発想で作られ、年齢で命と医療に格差を持ち込んだと評判の悪かった後期高齢者医療保険制度が国民の大変な批判を浴び、それが選挙結果にも影響を与えたのかもしれない。小泉首相の時期に、市場原理主義による弱肉強食の考えで立案された様々な施策が日本社会に与えた悪影響は計り知れません。日本は今、人口が減り始め、景気も悪く、経済も縮小しています。昔は起こらなかつたような変な事件が新聞を賑わせており、世の中全体に何となく元気無く冴えない雰囲気があります。これではいけません。こういう時には、我が国が昔から大切に受け継いで来た、伝統や文化、価値観をもう一度しっかり考える必要があります。貧しいけれど清潔で礼儀正しく、そして勤勉。人に恥じる事はしない。お年寄りを大切にし弱者をいたわる。このような日本人の美徳にもう一度誇りを感じた時、私たちはまた元気を取り戻す事が出来るのではないのでしょうか。



さくら病院 院長
江頭 啓介

心療内科について

心療内科 村上 修二

春は進学や就職、引越など大きく環境が変化する事が多い季節です。新しい環境に慣れようと無理をしたり、新しい目標に向かって懸命に努力を続けるうちに知らず知らずに見えない疲れを抱え込んでいることが時々あります。

心療内科ではストレスや心の不調が原因となつて出現する体の症状を主に診療しております。最近増加しているうつ病の患者さんも精神的な症状だけでなく、ほとんどが倦怠感、食欲不振、肩こり、動悸などの体の症状を伴っております。内科的な症状がなかなか良くならない、内科で検査をしても「異常ない」と言われてはつきりした原因がわからなかったり、また、なかなか治らない内科的な症状に「不眠」や「やる気の減退」、「気分の落ち込み」などの精神的な症状が伴う場合は、ストレスや心の不調が体の症状の原因かもしれません。心療内科では患者さんの症状を聞きながら、気づいていない原因を探したり、解決に向けてアドバイスをしております。

とがしばしばあります。

心療内科ではこれらの患者さんやご家族の精神的な支援もおこなっております。

また、心療内科では抗うつ剤や抗不安薬、睡眠導入剤などの薬も患者さんの病状により使用しております。これらの薬の内服について不安に感じておられる患者さんも多いようですが、これらの薬はストレスで傷ついた脳の働きを改善する作用があることが知られており、必要に応じて使用しております。薬のことで心配のある方には相談にも応じております。病状によっては臨床心理士によるカウンセリングも導入しております。



外来 週3回

月曜午後・火曜午前

(担当 当院常勤の村上医師)

金曜午前

(担当 九州大学心療内科の辰島医師)

※初診のみ予約制

心療内科は患者さんの生活環境等お話を聞く時間が必要となるため診察に時間がかかります。待ち時間が気になる方は事前にお電話をして頂き、金曜午前の予約制をご利用ください。

福岡市医師会看護専門学校の実習生の一言



患者様と接する中で、日々多くの事を学ばせて頂いています。

そしてその事は自分自身を大きく成長させてもらっていると実感しています。

患者様の心の声を感じ取り、心で対応できる看護師になりたいです。

【高木 由希恵さん】

四週間で観察・考察の重要性を学べたとともに私達に接して下さった先輩方の後ろ姿を見させて頂き、自分がどんな看護師になりたいかみえた様な気がします。

【其田 由美さん】

さくら病院で実習させていただいて、観察することの重要性を実感しました。

患者様をしっかりと観察し、どんな時でも心配りができて患者様を第一に考えられる看護師になりたいです。

【澄川 恵美さん】



医療安全週間



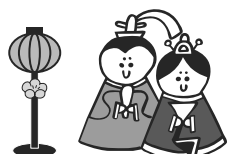
昨年11月、恒例の医療安全週間の活動を行いました。今年のテーマ「医療の質～安全・快適な医療を受けるために～」をもとにポスターの掲示やリスク委員によるパトロールを行いました。期間中は医師全員に医療安全週間の腕章の装着。看護部、事務部、栄養科、検査科、医療相談課、それぞれ代表はピンクリボンを着用し安全医療に取り組むことを強く自覚して業務にあたりました。

今年は「表皮剥離の予防策」の確認を主としてパトロールを行い、各部署車椅子のフットレスカバーの設置、ベッド柵カバー



の設置やクッションの使用などの工夫がされており、皮膚の弱い患者様にはアームカバー、レッグウォーマーの装着など様々な表皮剥離に対する予防策がなされていました。また、移動時にはスタッフそれぞれが注意の声を掛け合うなどの対策もされていました。

今後もさらに継続して医療安全に取り組み、患者様御家族が「快適な医療」を受けられるように努めて参りたいと思います。



ひな祭り会

2内科病棟

2内科病棟(リハビリ病棟)では年3回(七夕会、敬老会、ひな祭り会)のイベントを開催しています。

今回はひな祭り会を3月1日(月曜日)に開催させて頂きました。(例年と違い1内科病棟の食堂にて行いました。)

数週間前より案内ポスターを掲示していたので他の病棟から沢山の患者様、御家族にも参加して頂くことができました。催し物ではボランティアによる三線の生演奏もありアンコールが出るほど大好評でした。又、飛び入りで御家族による手品もあり、患者様方は真剣に見入っていらっしゃいました。

中でも特にスタッフが数か月前から練習した劇「君の名は」は患者様方の青春時代(昭和20年代)の映画を再現し、短い劇ではありましたが笑いあり、アドリブあり大好評でした。「うれしいひな祭り」「川の流れのように」を1ヶ月前より患者様とともに練習してきた甲斐もあり成果を発揮することができました。



今後もリハビリ病棟スタッフとして一人でも多くの参加が出来るよう、患者様の意欲向上を目指しスタッフ一同取り組んでいきますので宜しくお願いします。



品質方針

医療法人社団 江頭会 さくら病院は、顧客第一主義を基本理念として、良質の医療・介護サービスの提供と働きやすい職場づくりの改善を継続的に行ってまいります。

そのために人間性、知識、技術の3点を合わせて、個々のレベル向上と個々を基盤とした確かな組織づくりを継続的に行ってまいります。具体的には、以下の3点に集約し推進します。

1. 顧客のニーズと期待、及び法令・規制要求事項を把握し、これらに適切な医療・介護サービスを提供いたします。
2. さらに魅力ある切れ目のない医療・介護サービス提供を目指し、医療・介護サービスの有効性の継続的改善を行ってまいります。
3. 顧客のプライバシー保護には特段の配慮を致し、手段については有効性の継続的改善を行ってまいります。

2010年3月26日 医療法人社団江頭会 さくら病院 理事長 江頭 啓介

病院の診療指針

- 1、一期一会を大切に
- 2、友愛ともにいたわりともに励ます
- 3、医療は信頼から
- 4、多忙な中にも対話を忘れずに
- 5、医療サービスは深い思いやりをもって
- 6、慢心は敵、安全医療に徹する
- 7、快適な職場づくりは
ひとりひとりの心掛けから
- 8、救急協力は無償の愛をもって
- 9、向上心をもって医療に取り組む

看護サービスの基本理念

- 1、患者様との触れ合いを大切にし、安全で思いやりのあるケアを行う。
- 2、医師及び他部門と協働し、働きやすい職場づくりを行う。
- 3、看護・介護の質の向上をめざし、自己研鑽を重ねる。
- 4、地域・医療・福祉との連携を図り、継続したケアが提供出来るよう取り組む。
- 5、社会の変化に対応し、柔軟な発想で業務改善を行う。

さくら病院の患者権利7カ条

- 1、だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 2、だれもが、一人の人間として、その人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
- 3、病気、検査、治療、見直しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受け、治療方法を自分の意思で選ぶ権利があります。
- 4、地域・医療・福祉との連携を図り、継続したケアが提供出来るよう取り組む。
- 5、社会の変化に対応し、柔軟な発想で業務改善を行う。

- 6、納得できる医療を受けるために、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて、十分理解できるまで質問する権利があり、同時に治療の指示を守る義務があります。
- 7、すべての患者様が適切な医療を受けられるようにするため、患者様には、他の患者様の治療や病院職員による医療提供に支障を与えないように配慮する義務があります。
- 8、自分の診療記録の開示を求める権利があります。
- 9、医師の意見（セカンドオピニオン）をお聞きになりたいという御希望も尊重いたします。



福岡市救急病院協会 海外視察研修を終えて



リハビリテーション科 富永範子 島津さつき

江頭会と桜花会から4名の職員がまだまだ寒い2月の日本から飛び立ち、日付変更線を越えて穏やかな気候のハワイで研修会に参加してきました。お天気にも恵まれ、緩やかな海風が心地よく、『アロハ〜』と陽気な土地柄から研修会ものんびりムードかと思いきや、到着の翌朝から英語での講義があり(もちろん通訳付きですが)、講師の先生方も非常に熱心で予定の時間が延びることも度々ありました。先生方の熱意のお陰で時差ボケなどはすぐに解消され、ハードなスケジュールでも快調に過ごせました。



講義は[アメリカ合衆国における健康保険プログラム]、[経営の戦略

的なマーケティング]の2つが主な内容でした。そこで、アメリカの医療制度の不備や矛盾により、質の良い医療サービスを提供しても病院経営が難しいという現実を知りました。

しかし、その難しさを解決する為に、徹底したマーケティングにより人や地域のニーズの把握が重要だと学ぶことが出来ました。今回、旅行のガイドブックでしか知らなかったハワイを医療現場という新たな側面から見ることができ、これまで行った個人的な海外旅行とは違う経験を積み2倍の充実感でした。

今後、研修会から得た知識とハワイから学んだ『アロハスピリット』を仕事に活かし、明るく活気のあるリハビリテーション室を目指します。



平成21年度 さくら病院活動報告

H21年 4月	日本医療機能評価Ver.5 更新認定 新人オリエンテーション (前期)
6月	第11回さくらフォーラム (KKR博多) H21年度1回目 ボランティア・スタッフ 学びと交流のつどい 消防避難訓練 (前期)
7月	2内科 セブ会
8月	第11回さくらグループ業務改善コンテスト (山の上ホテル) ビアパーティー (山の上ホテル)
10月	ISO更新審査 新人オリエンテーション (後期)
12月	地域モニター会 消防避難訓練 (後期) H21年度2回目 ボランティア・スタッフ 学びと交流のつどい
H22年 2月	新年会 (ホテル日航福岡) H21年度3回目 ボランティア・スタッフ 学びと交流のつどい
3月	2内科 ひなまつり会

平成21年度 入職者

平成20年 4月

秋満 俊介
柴田 恵介
中口 奈々
瀧本 千登勢
母里 瞳
結城 舞
松田 圭希
柏木 美沙樹
船越 ちえみ
野田 薫
久光 雄介
石橋 温子

5月

田中 啓二

6月

藤 菜実子
川口 ともみ

7月

渦元 悦子
北島 佑香

8月

高田 淳
宮本 久美子

9月

高橋 留美子
吉永 喜美枝
江頭 晶子
安田 勢都子
谷 直子
市来 容子
原 明美
増田 久美

10月

宇野 奈緒
前島 美穂

檜田 久美子
松尾 美和
河合 珠美

11月

山口 恵
多久島 真奈美
吉崎 素子

12月

大平 一二三

平成22年 2月

大仁田 八重子

3月

桑原 万里子
中村 靖代
小深田 智子

職員のメンタルヘルス相談窓口

ゆるり

さくら病院のスタッフ内では、何か悩みや相談事があると、『ゆるり』に行ってくれば?と、スタッフ同士でお互いに声かけ合っています。

「ゆるり」とは、臨床心理士が当院に入職して以来始めた、スタッフが“心身共に健康に働ける”ための制度です。医療サービスを行うスタッフも人間です。日常の中で、悩んだり、迷ったりすることは自然なことです。その中で、良いサービスを患者様、そのご家族に提供していくためには、スタッフ自身のセルフコントロールが必要になってきます。

スタッフ自身が心身共に健康であることが、結果よりよい患者様サービスにつながるという思いから、「ゆるり」は誕生しました。

この「ゆるり」という言葉の由来は、精一杯頑張っている日常の中で、一度立ち止まって力をフツと抜いて、ゆるりとして。立ち止まる前よりもっと楽になって、自分らしく再び日常に戻ってほしい。そういう願いを込めてつけました。

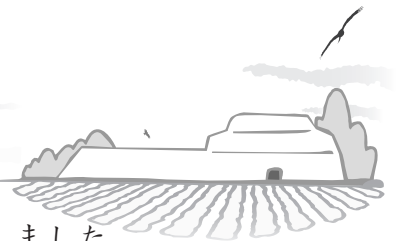
「ゆるり」は、個別面接を相談者と臨床心理士で行うものとしてスタートしました。実施していく中で、次第に研修をしてほしいという要望が出てきました。労働安全衛生委員会の中で「働きやすい職場づくりアンケート」を実施し、そのアンケート結果を基に、今年度は、管理者向け、中堅向け、新人向けにそれぞれの層で必要な研修を行い、全体研修ではストレスをためない人間関係をつくる工夫を発表させていただき、メンタルヘルスの啓蒙に取り組んでいるところです。

現代は、ご存じの通りストレス社会と言われています。癒しという言葉もあちこちで飛び交います。自分を癒すことが次第に人を癒すことにつながっていくと思うのです。まずは自分が癒されること、自分を大事にすること。「ゆるり」で得た自分の体験を通して、それが患者様やご家族への笑顔につながっていけたら…そういう願いを込めて、日々「ゆるり」と努力をしています。



かたえ今昔物語

梅林古墳



昭和63年(1988)、市営団地建て替えに先だって発掘調査を実施しました。その時、発掘されたのが油山の丘陵尾根に5世紀後半に造られた前方後円墳です。墳丘両端と東側部分が削平されていましたが、墳長約27m、後円部径約15m、前方部幅15mに復元されました。

墳丘は二段築成で、葺石や埴輪はありません。内部主体は平面羽子板形の横穴式石室で、後円部中央に設けられています。

須恵器、土師器などの他に鉄斧、鉄刀子、鞍金具、ガラス製管玉などを副葬していました。

石室の形態などに古い様相をもちつつも、くびれ部方向に開口し、須恵器の副葬などの新しい葬送儀礼を取り入れるなど、後期古墳の要素を兼ね備える古墳といえます。

小型の前方後円墳ですが、早良平野の古墳時代を考える上できわめて重要です。

現在、墳丘を復元して保存、公園として公開されています。



●開放型病院登録医療機関ご紹介●

まつもと胃腸内科



院長 松本 和博 先生

〒814-0133
福岡市城南区七隈3-4-23
TEL 092-864-1122

皆様、こんにちは。
城南区七隈にて、平成20年9月8日より開業しております松本です。

当院は、長年にわたり地域医療に貢献されました中村裕一先生(中村胃腸科医院)の診療所を継承させていただきました。

さて、開業して1年半。外来でご本人やそのご家族の様々な話を聞かせていただきながら、とても考え込んでしまう今日この頃！それは…

「健康が1番！」とよく言いますが、そもそも「健康って…？」という事です。(今更ながら…)(笑)医療に従事する毎日、様々な症状の方が受診され、治療を行いますが、改めて健康とは、単に「病気ではない」、病気が治るということだけでなく、ご本人を取り巻く、心やかからだ、人間関係も含め

た社会的なものの…様々な事柄ができるだけ良好である状態(世界のWHOによると)をいい、それを考慮して一つ治療を行うにしても、注意深く考えることが大切だと感じております。

実際に、この様な総合的な視点で地域の皆様に、「愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕！」なさっているのが、さくら病院江頭会・桜花会のご皆様であり、本当にすばらしいと思います。

私のクリニックには入院施設はありませんが、必要時いつでも快く入院相談を受けて下さるため、安心して医療に携われます。

院長を中心とされた素晴らしいチームワークで、今後ますますご発展されることでしょう!!
そのパワーに刺激されつつ、私も地域医療に取り組んでまいります。

ボランティア通信

ボランティア 吹野 正義

私は花の知識はありませんでした。家の庭には松の盆栽が並んでいるだけです。さくら病院の花壇は日当たりが良くコンクリート床なので乾燥がひどく、水撒きなら出来そうだと思つて始めました。

花はデリケートで乾きすぎ・湿りすぎてもすぐに弱りますが、野草は悪い条件の中で育っていきます。人間が花は大きく、実は甘くと過保護に改良したからでしょう。

植物はよくしたもので春になれば芽を出し、乾燥すれば身を守る為落葉します。

見ていると感心するばかりです。花を眺めているのも楽しいですが、もう一つ楽しみにしている事があります。

患者さんが話しかけてこられることです。「綺麗に咲いていますね」と言われると嬉しくなります。「花の事をあまり知らないけど水やりだけしています」と返事すると「花が終わったら実をつけない間に摘み取った方がよかよ」とか「思いっきりバサツと切り込むと株分けしてこの鉢いっぱいになるよ」と教えてくれます。「ここに水道があれば

私が水やりをしてあげるけど…」と患者さんが言ってくれます。
最近季節折々花屋さんを見廻つたりするようになりました。
私と二緒にさくら病院のガーデンをお世話してくれる方はいませんか？

きれいな花を咲かせましょう。

ボランティアの吹野さんはさくら病院の癒しの場であるガーデンのお世話をし、年に2回植え替えをしてきています。皆さんも一度さくら病院のガーデンをのぞいて下さい。



さくら病院では「医療連携室」と「医療相談室」を2つの柱として相談窓口業務を行っています。
どうぞお気軽にご相談ください。

【病診・病病連携のご案内】

地域の病院・診療所と連携をとるために医療連携室を設けております。
患者様の病気や症状に応じ、「診療所と病院」、「病院と病院」、「病院・診療所と特定機能病院」が連携を密にし、患者様へ適切な治療を行えるよう、検査・入院体制を整備しています。

「医療連携室」「医療相談室」のご案内

「医療連携室」

患者様へ適切な医療の提供が行えるよう、地域の診療所や病院、在宅サービス事業所等との連携に努めています。

「医療相談室」

退院後の生活に対する不安、福祉や介護サービスについて、経済的な問題、入院相談等についての相談を承っています。お気軽にお声をおかけ下さい。

医療連携・相談室 TEL 092-864-1212 FAX 092-865-4570

担当者	医療連携室長	楠原 浩之	相談受付	
	室長	南里 幸嗣	平日	午前9:00～午後5:00
	医療ソーシャルワーカー	小川 美和	土曜日	午前9:00～午後12:30
		松山 章子		



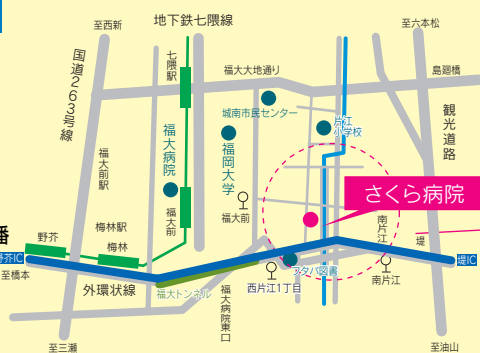
■さくら病院では、セカンドオピニオンのご相談にも応じています。まずは、お電話でお問合わせください。

外 来 診 察 表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科
	第2診察室	楠原 内科/消化器科(肝臓)	王寺 内科/胃腸科	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	王寺 内科/胃腸科	楠原 内科/消化器科(肝臓)
	第3診察室	大門 内科/胃腸科	村上 内科/心療内科	宮崎 内科/胃腸科		辰島 内科/心療内科	井手 内科/糖尿病外科
午後	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	王寺 内科/胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	
	第2診察室	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	石津 内科/血液・腫瘍	楠原 内科/消化器科(肝臓)	秋満 内科/循環器	
	第3診察室	村上 内科/心療内科		佐々木(靖) 循環器(隔週)	早田 内科消化器科(肝臓)	安部 脳神経外科	
				田中 内科/胃腸科			
専門外来 (予約制)	午前	井上 神経内科外来		馬場 神経内科外来	渡辺 呼吸器内科外来	岡崎 放射線科外来	
	午後	秋満 循環器外来		石津 血液・腫瘍外来 佐々木(靖) 循環器外来	楠原 肝臓外来 早田 肝臓外来	安部 脳神経外科	

病院までの交通アクセス

- 地下鉄七隈線
(福大前下車、1番出口より徒歩10分)
- バス(西鉄バス西片江1丁目バス停下車)
西鉄バス系統番号
(天神方面より) 12,13,14,61,114,140番
(西新・飯倉方面より) 95番
(博多駅方面より) 12,13,16,18,64,114,140番
(松原・片江方面より) 6,12,13,14,16,18,61,64,95番
- 車(病院裏手に専用駐車場があります。)
天神より約30分・堤ICより約5分



医療法人社団 江頭会 さくら病院
在宅医療介護センターさくら

社会福祉法人 桜花会
ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会
特別養護老人ホーム ライフケアしかた

高齢者安心ハウス
あっとほーむ片江

〒814-0142 福岡市城南区片江4丁目16-15

TEL092-864-1212 FAX092-865-4570 E-mail:info@sakurahp.or.jp

ホームページ: <http://www.sakurahp.or.jp/> (4月1日ホームページを更新いたしました)

直通TEL

事務所 092-801-7386
ユニット 092-872-5615

1内科 092-872-5611
2内科 092-872-5612
3内科 092-872-5613